

21～22年度 第1回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成21年 6月24日 (水)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○玉田委員長・×浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ○白井・○古木・×相原	前担当副会長	○小林忠志
<p>1. あいさつ 吉川副会長、小林副会長より</p> <p>2. 自己紹介及び正副委員長の互選 ・互選の結果 委員 長：玉田正人 副委員長：長谷川匡、浅野明 となった。</p> <p>3. 委嘱状授与</p> <p>2. 報告事項 ・前回議事録の確認 ・コンペ登録事務所について（PR文書等が届いていない事務所 8社） ・コンペ規程等の報告及び確認 確認書に受付印欄等を設け、押印した後申込者にコピーをお渡しする。</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) コンペ登録事務所へのアンケート集計について</p> <p>①アンケート結果について 回答：12事務所 次回の合同委員会にて提出する。そこで意見交換並びに質問回答等を行う。</p> <p>②真下邸の結果報告（雄設計 古谷様より） → 内容を確認</p> <p>(2) 演習林の見学会実施運営について</p> <p>・岡野先生への講師料（50,000円）、演習林作業所へのお礼（5,000円分の茶菓子）を用意 ・7:30に事務局磯部及び県木連沖原氏は集合。（弁当等の手配、飲料水はお茶で可）</p> <p>(3) コンペ登録事務所及び県木連との合同会議開催について</p> <p>日 時：平成21年 7月23日（木） 15:00～ 会 場：神事協会議室 懇親会：会費4,000円程度</p> <p>・県木連出席者：徳増氏、沖原氏</p> <p>(4) 森林循環フェア2009について</p> <p>日程：平成21年11月6日（金）～8日（日） 会場：藤沢モルフィル、TVKハウジング藤沢</p> <p>・昨年度も行った建築相談については、事務所協会は開催しない。（今後も同様） ・7月13日に現地下見打合せ ・配布用パンフレット等を新規に作成する。（今までの作品等を引用する） 柱プレゼント、「住・緑・家」申込料金無料等は、今後考える。</p> <p>(5) その他</p> <p>・委員の増員等について（理事会意見） 「住・緑・家」登録者以外でも興味のある方は、委員になれないか？ → 登録をしていなくても委員になった場合は、登録をして頂く。</p>			
次回、平成21年 7月23日（木） 15:00～ 神事協会議室（合同委員会）			

21～22年度 第2回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成21年 8月26日 (水)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・○浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ○白井・○古木・○相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回議事録の確認</li> <li>・コンペ登録事務所について（PR文書等が届いていない事務所 8社） 委員長が率先して提出する。他の方へも委員長名で提出依頼をする。</li> <li>・小泉木材より1物件予定（ただし、設計のみか？） 設計のみでも実績を作るためには良いのでは？（キャンペーンも絡んでいるのでは？）</li> </ul> <p>3. 議題</p> <p>(1) 21年度キャンペーン事業への協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の派遣協力 9/16 15:30～20:30 玉田、長谷川</li> <li>・「住・緑・家」コンペパネルの選出（10作品） コンペポスター1点と過去の作品9点とした。</li> </ul> <p>(2) 森林循環フェア2009について</p> <p>日程：平成21年11月6日（金）～8日（日） 会場：藤沢モルフィル、TVKハウジング藤沢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手伝い担当について 11/6：玉田、長谷川 11/7：浅野、古木 11/8：白井、相原 また、「住・緑・家」登録事務所へも手伝い協力依頼をする。</li> <li>・配布物等の検討、資料作成について バルーン風船を900個用意する。 ヒノキ、スギの材木展示は？ → 県木連へ打診する。 9月と10月の委員会にて決定するので、企画案の提出を宿題とした。</li> </ul> <p>(3) 見学会等の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材の見学会の実施（2月ごろ）</li> <li>・実務に活かせる内容（長期優良住宅の研究 → 県産材が使用できるのか？等）</li> </ul> <p>(4) 合同会議での懸案事項について（合同会議の議事録を参照）</p> <p>①依頼者に対するヒアリングシートの内容について、追加事項等ありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、建物を建てたいのか？（内面的なことを引き出す一暮らし方、家族関係・・・）等 → 今後の経過をみて検討する。</li> <li>・土地の情報（土地購入時の重要事項説明書、登記した地積測量図など） 情報をえるのに嫌な思いをした。（三斜が手に入らなかった）</li> </ul> <p>②県産材（国産材）の材料供給は、県木連の登録木材店ということをご理解頂いていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する材木店さんはその都度決まるようですが、できれば、依頼する流れの決め事など（窓口や依頼内容のチェックシートなど？）を作っておいた方が部会の負担が減るのでは？ → チェックシートの案を雄設計の古谷氏にお願いしてあるので、提出をしていただくように催促する。</li> </ul>			

- ・材の等級は指定が出来るか？  
県産材で製品化されたものが無い場合もあるので、国産材を入れている。  
スパン表等はない。部材リストは、各材木店が渡すことが出来る。  
→ 部材リスト等については、徐々に整えていって欲しい。県木連へ願います。
- ・材の流れについては？  
指定された数量をそろえるのが難しい場合もある。また、県産材は一般的には流通していない。  
→ 見学会で理解をえる。

### ③研修会等、要望があればご自由にお書き下さい。

- ・施主に良い材だと説明できる様な研修会開催は企画していく。  
→ 講師は、県産材について良く知っている人が適任。県木連へ聞く。
- ・実施されている案件の経過状況を逐一ホームページ等でお知らせ下さい  
→ 大づかみの進捗状況をUPして行く。受託した事務所の義務であるので、規定に盛り込む。  
また、応募状況〇件とホームページへ公開する。

<登録事務所規定に下記を追加する>

(報告の義務)

第10条 選定された事務所は、契約の状況および工事の進捗状況等を事務局にその都度報告する。

### ④その他

- ・部会の予算や決算は、公開されているのか？  
登録費を出しているの、気になります。また、登録していてメリットを感じません。  
→ 会の予算書に含まれてしまい明確に公開はされていない。  
設監委員会のように関係図書等を登録事務所に配布する事も今後委員会で検討
- ・設計料のおおよその目安は、問合せ段階で話されていますか？  
工事費の10%前後と話してはいたが、告示15号でどう話をして良いか。委員会として金額の目安を独禁法に違反しないで設定出来るか検討(ある程度の金額提示が望ましい)  
→ 詳細な金額については事務所と個別の交渉になるが、目安については、告示15号で表を作ってお客さんへ渡す。
- ・プレゼンはパース 可を復活したらどうかと思います。特に住宅は立面図よりパースも可のほうが、クライアントにも分りやすくまた、より登録事務所の力量や企画力が向上すると思う。  
→ カラーパースを可にするか委員会で再検討 → 現状のままとする。
- ・コンペの主旨が不明確。運営も規定が不足しています。  
プレゼンの労力を削減するなら、コンペではありません。もっと違う趣旨で県民に協力できる方法があるような気がします。  
→ 良く説明することとした。
- ・合同会議は今後も開催していくこととした。

### (5) その他

- ・技術調査委員会の内容について  
EPR評価について情報提供(玉田委員長より)

21～22年度 第3回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成21年 9月24日 (木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・○浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ×白井・○古木・○相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所について (PR文書等が届いていない事務所 8社) 10月中にはまとめる。</li> <li>・ 1物件ヒアリング (9/15) 実施</li> </ul> <p>3. 議 題</p> <p>(1) ヒアリングの実態について (ヒアリング方法について)</p> <p>&lt;意見として&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施設計でないのに質問が多すぎる (プランのバリエーションを欠く可能性あり) <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 立会人 (当委員会) が不足している部分を補い、選定された事務所からは1問とするのはどうか?</li> </ul> </li> <li>・ ヒアリングをなくしては? → 10万円支払っているのだから… → 委員会でヒアリングしては?</li> <li>・ 申込者からみて、設計者選定なのか、プラン選定なのか…</li> <li>・ 少ない情報でプラン (アイデ) を考えるのが普通では?</li> <li>・ ヒアリングの実施については、申込者に聞く。</li> <li>・ 状況をみながら運用していく。当面は規定を変更しない。</li> </ul> <p>(2) 森林循環フェア2009について</p> <p>日程: 平成21年11月6日 (金) ~ 8日 (日) 10:00~17:30 会場: 藤沢モルフィル、TVKハウジング藤沢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会担当の実質開催は、7日 (土) と8日 (日) の2日間となった。</li> <li>・ 配布物等の検討、資料作成 昨年度のものを修正する。(県木連作成のもの) しおり (県産材?) の購入 クリアファイルに名入れして資料を挟んでは? → 次回に決定する。</li> <li>・ 「住・緑・家」登録事務所への協力依頼については、10月に入ってから依頼書を出す。</li> </ul> <p>(3) 見学会等の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「県産材の見学会」2月ごろに実施予定。(林業センター、寄の森、太田材木、吉岡材木、ナイス)</li> <li>・ キーテック、合板博物館 → 今後検討</li> <li>・ 県産材についての研修会については、玉田委員長が打診中。</li> </ul> <p>(4) 供給部材のチェックシートについて (古谷氏作成)</p> <p>&lt;案&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下記の様なアンケートを県木連加盟の間屋さんにとっておいていただき、その内容を設計側がみて お願いする間屋さんを選ぶ。</li> <li>2) こちらの希望する内容を県木連事務局に渡して、間さんをピックアップしておいていただく。</li> </ol> <p>の2つの内、どちらかの方法を事前に行っておくとコンペ担当者決定後に便利だと思います。</p>			

下記アンケートは県産材に限ってお答え下さい。

1 供給可能な部材について

- 柱・梁の最大寸法（正角寸法） →
- 柱・梁の最大長さ →
- 樹種 →
- 料金表 →

2 計算又はプレカットについて

- プレカットを自社で行っていますか？材供給のみ（木材を指定のプレカットメーカーに納入）も可能ですか？
- 構造計算をお願いできますか？できるとしたらどこまで（壁量、金物、許容応力度、基礎など）お願いできますか？
  - ①壁量 ②金物 ③許容応力度 ④基礎 ⑤その他（ ）
- 構造計算をお願いできる場合、
  - ①その料金を教えてください。
  - ②建築士資格はありますか？ 資格がある場合、（ 1級 、 2級 ）
  - ③各伏図、軸組図など申請に必要な図面（基礎伏図含む）は作成可能ですか？
- 仕口の金物はどの製品が対応可能ですか？ → 本人に質問の意図を聞く。

3 進め方について

- 発注者の理解を増すため、製材所での加工の様子など見学可能ですか？
- 山に立木の状態からクライアントが見ることは可能ですか？

・作成された案を多少修正したものを県木連へ送付して回答をもらう。

(5) 登録事務所規定の改定について（10/15 理事会へ提出）

（改正理由）

「住・緑・家」コンペシステム終了後に選定された事務所が契約に結びついたのかを知るため。また、ホームページを利用し、工事の進捗状況等を掲載していくことを可能にするため。

以上の理由から登録事務所規定の追加を行いたい。

1（報告の義務）

第10条 選定された事務所は、契約の状況および工事の進捗状況等を適宜事務局に報告する。以降、項ずれとする。

附則 4 この規定は、平成 年 月 日 より施行する。

以上を新旧対象表と共に 10/15 の理事会へ提出する。

(6) その他

・22年度予算案について

<収入>

- ①「住・緑・家」コンペ登録料 300,000 円
- ②県産木材見学 100,000 円
- ③製材工場等の見学 100,000 円
- ④県産材についての研修会 100,000 円
- ⑤「住・緑・家」申込 100,000 円

<支出>

- ①県産木材見学 100,000 円
- ②製材工場等の見学 100,000 円
- ③県産材についての研修会 100,000 円
- ④コンペ無料開催(イベント用) 200,000 円
- ⑤「住・緑・家」新パンフ作成 90,000 円
- ⑥県職員共済会冊子広告 50,000 円
- ⑦森林循環フェア 2010 100,000 円
- ⑧地域ミニコミ誌広告 → 委員長一任

<会議費> 9名×12回

21～22年度 第4回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成21年10月30日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・×浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ×白井・○古木・○相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所について (PR文書等が届いていない事務所 8社) 引き続き資料の提出をお願いします。</li> <li>・ 1物件問合せあり (横浜市内 三井杉田自治会館建替え) 申込予定。平塚と同様な形で開催出来ないか? → 了承。 予算 3,000万円、23年7月着工</li> <li>・ 10/29 小泉邸のプレゼン実施 (立会い: 玉田、長谷川) → 11/20 までに回答される。</li> <li>・ 県共済会冊子への広告申込について → 例年通り申込を行った。</li> </ul> <p>3. 議 題</p> <p>(1) ヒアリング及びプレゼンの実態について (ヒアリング及びプレゼン方法について)</p> <p>①ヒアリングについては、現状通り行う。</p> <p>②プレゼン方法について (作品を事前送付すべきか?)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品のコピーを申込者へ事前に送付し、送付後1週間～10日以内でプレゼンを実施する。</li> </ul> <p>(2) 森林循環フェア2009について</p> <p>日程: 平成21年11月6日 (金)～8日 (日) 会場: 藤沢モルフィル、TVKハウジング藤沢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリアファイル (名入れ) を2,000枚注文したことを報告。</li> <li>・ 県産材 (ヒノキ、スギ) 4本は、県木連にて用意されたことを報告。</li> </ul> <p>①手伝い者リスト</p> <p>6日(12:30～17:30): 上原会長、三杉専務 (開会式) 玉田委員長、長谷川副委員長</p> <p>7日(9:30～17:30): 河本(午前のみ)、浅野、古木、吉川、玉田</p> <p>8日(9:30～17:30): 芝、雨森、白井、相原</p> <p>②パネル: 県木連にあるもの及び平塚と横浜の物件</p> <p>③配布物等の検討、資料作成 (各200部作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度配布したものを修正して配布 修正箇所: コンペ無料3件を1件へ、併せて材木プレゼントも1棟分とする。</li> <li>・ 相原委員作成の資料。</li> </ul> <p>上記をクリアファイルに入れて配布する。</p> <p>(3) 見学会等の開催について</p> <p>開催予定: 2月23日～26日 県木連へ打診する。 参加費: 2,000円/人 必修研修と位置づける。 見学場所: 市川屋材木店、吉岡木材、太田木材、林業センター、寄の森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県産材についての講師は、再検討する。</li> </ul>			

(4) 供給部材のチェックシートについて（古谷氏作成）

- ・古谷氏作成のものを基に案を長谷川副委員長が担当し、作成する。

(6) その他

① 県木連との合同会議開催について  
県木連へ打診する。

② 各委員の近くの行政窓口等へ「住・緑・家」パンフを配布してもらう。

③ 自治会館等も「住・緑・家」を利用できる等のパンフレットを作成する。（カラーで）

④ 相原委員より議題の提案あり、次回より議論していく。

- ・「住・緑・家」の方向性について（「住・緑・家」のプレゼン）  
運営方針、PRの方法、冊子等の作成

次回 平成21年11月27日（金） 15:00～ 箱根にて

21～22年度 第5回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録																					
開催日時	平成21年11月27日 (金)	会場	箱根パークス吉野																		
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○玉田委員長・×浅野副委員長・×長谷川副委員長 (委員) ×白井・○古木・○相原																				
1. あいさつ 吉川副会長より																					
2. 報告事項																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所について (PR文書等が届いていない事務所 8社)</li> <li>・ 11/25 松浦邸のヒアリング実施報告 (立会い: 玉田、浅野) 12/16 プレゼン予定</li> <li>・ 供給部材のチェックシートの内容確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構造計算をお願いできる場合の3項目は削除する。また、この内容の質問は県木連との合同会議にて口頭で行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>以上が修正出来次第、県木連へ送付し12月の合同委員会までに回答をお願いする。</p>																					
3. 議 題																					
(1) 次年度事業計画及び予算について (修正)																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22年度予算案について</li> </ul>																					
<p>&lt;収入&gt; 800,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>①「住・緑・家」コンペ登録料</td> <td>300,000円 (15,000円×20名)</td> </tr> <tr> <td>②県産木材見学</td> <td>100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)</td> </tr> <tr> <td>③合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学</td> <td>100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)</td> </tr> <tr> <td>④県産材についての研修会</td> <td>100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)</td> </tr> <tr> <td>⑤「住・緑・家」申込 (2件分)</td> <td>200,000円 ← 100,000円増</td> </tr> </table>				①「住・緑・家」コンペ登録料	300,000円 (15,000円×20名)	②県産木材見学	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)	③合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)	④県産材についての研修会	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)	⑤「住・緑・家」申込 (2件分)	200,000円 ← 100,000円増								
①「住・緑・家」コンペ登録料	300,000円 (15,000円×20名)																				
②県産木材見学	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)																				
③合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)																				
④県産材についての研修会	100,000円 (県木連と共催、企画業務委と調整)																				
⑤「住・緑・家」申込 (2件分)	200,000円 ← 100,000円増																				
<p>&lt;支出&gt; 910,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>①県産木材見学</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>②合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>③県産材についての研修会</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>④コンペ無料開催(イベント用)</td> <td>100,000円 ← 100,000円減</td> </tr> <tr> <td>⑤「住・緑・家」新パンフ作成</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>⑥県職員共済会冊子広告</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>⑦森林循環フェア2010</td> <td>70,000円 ← 30,000円減</td> </tr> <tr> <td>⑧地域ミニコミ誌広告 (10,000円×12回)</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>⑨「住・緑・家」実施 (2件分)</td> <td>180,000円</td> </tr> </table>				①県産木材見学	100,000円	②合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学	100,000円	③県産材についての研修会	100,000円	④コンペ無料開催(イベント用)	100,000円 ← 100,000円減	⑤「住・緑・家」新パンフ作成	90,000円	⑥県職員共済会冊子広告	50,000円	⑦森林循環フェア2010	70,000円 ← 30,000円減	⑧地域ミニコミ誌広告 (10,000円×12回)	120,000円	⑨「住・緑・家」実施 (2件分)	180,000円
①県産木材見学	100,000円																				
②合板博物館と県産合板工場(キテック)の見学	100,000円																				
③県産材についての研修会	100,000円																				
④コンペ無料開催(イベント用)	100,000円 ← 100,000円減																				
⑤「住・緑・家」新パンフ作成	90,000円																				
⑥県職員共済会冊子広告	50,000円																				
⑦森林循環フェア2010	70,000円 ← 30,000円減																				
⑧地域ミニコミ誌広告 (10,000円×12回)	120,000円																				
⑨「住・緑・家」実施 (2件分)	180,000円																				
<p>&lt;会議費&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①9名×12回</li> <li>②「住・緑・家」登録事務所合同会議 2回 (5月、11月) 情報を流すこと。選ばれた事務所について等の意見交換</li> </ul>																					
(2) 横浜市内 三井杉田自治会館建替えコンペについて (平塚方式希望)																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/19 正式申込あり</li> <li>・ ヒアリング日程: 12月9日 (水) 19:00~21:30 現地にて (会館建設委員会7名出席予定) 出席者: 吉川、玉田、古木、相原 (欠席者には後日打診する)</li> <li>・ 応募要領 (案) を作成して、ヒアリング時に提案する。 一次審査の方法は、申込者と相談する。(提出された事務所全員のプレゼンを希望しているようだ)</li> <li>・ コーディネーター費を謝礼で出すこととした。(申込金の中で賄う)</li> </ul>																					
(3) 品濃・白旗神社 コンペの可能性について																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/24 来所 社寺建築になれた設計事務所を探している。設計施工ではなく、設計と施工を分けたい。 詳細は聞いていないが、予算が厳しいのではないかと等々の意見がだされた。委員会としては、</li> </ul>																					

①断る

②「住・緑・家」で扱う。

③神事協全体として扱う。

上記のいずれかとなるが、吉川副会長の知り合いの方なので、後日連絡を取っていただき詳細を問い合わせさせていただくこととした。

#### (4) 見学会等の開催について (予定工程)

寄の森ー林業センターー(株)市川屋 (製材工場、プレカット等)ー県産材使用施設  
(七沢小 or 環境保全センター)ー吉岡木材 (時間的に見れない場合あり)

- ・開催日：平成22年 2月24日(水) 8:00~18:00 集合：横浜駅西口天理ビル前  
「住・緑・家」コンペの必修研修と位置づける。案内については、会報1月号に同封する。

#### (5) 県木連との合同会議について

- ・12/15、22、24、25で打診中、決定次第連絡をする。

#### (6) 森林循環フェア2009の反省

- ・会場がダメ (集客なし)
- ・モデルルームは無駄である。(経費の無駄) 県民に見て貰えていない。
- ・湘南モールフィルからの誘導がない。(クイズラリーのみ)
- ・雨が降らなくて良かったが・・・雨が降った時のことを考えたらゾットする。
- ・住宅展示場出入口に循環フェア2009年12月2日09の建て看板も案内もなかった。
- ・モールフィル内のフェア案内受付付近で「住・緑・家」パンフレットの配布をしようとしたら断られた。

#### (7) その他

①「(仮称) かながわの住まい緑の家」～システムの作成～について (相原委員より資料提供あり)

##### 1) 一般市民向けと登録事務所 (会員) 向けの概要パンフレットの作成

- ・会員各事務所が県産材を利用できるようなシステム化と啓発が必要。
- ・会員が県木連を利用する方向にしていく。(知ってもらう)  
次年度パンフレットに内容を盛り込む。

##### 2) 工事仕様書の作成

木造特別委員会にて作成しているので、県産木材利用の場合の特記仕様を内容に組込んでもらう。

##### 3) 関係団体組織

##### 4) 運営方針・規約

②各種講習会等の情報提供 (申込協力をお願いした)

- ・12/8 「神奈川県みんなの街づくり条例及び川崎市福祉の街づくり条例改正」講習会
- ・12/8 「坂茂建築設計の作品」講演会
- ・12/3 賛助会フェア

次回12月は、県木連との合同会議 日程が決定次第連絡のこと。

21～22年度 第6回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録																														
開催日時	平成21年12月25日 (金)	会場	県木連会議室																											
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川昭・○玉田委員長・×浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ○白井・○古木・×相原																													
1. あいさつ 吉川副会長より																														
2. 報告事項																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所について (PR文書等が届いていない事務所 7社)</li> <li>・ 12/16 松浦邸のプレゼン実施報告 (立会い: 玉田、浅野)</li> <li>・ 12/25 三井杉田台自治会館建設コンペの募集開始 (1/8 締切)</li> <li>・ 品濃・白旗神社の設計者募集について (1月号の会報に同封、1/15 締切) 応募者の一覧表を作成し、後日当委員会にて対応する。</li> <li>・ 各種講習会案内配布</li> </ul>																														
3. 議 題																														
(1) 次年度事業計画及び予算について (修正)																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修正案は下記とした。</li> </ul>																														
<収入> 800,000円																														
<table border="0"> <tr> <td>①「住・緑・家」コンペ登録料</td> <td>300,000円</td> <td>(15,000円×20名)</td> </tr> <tr> <td>②県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)</td> <td>100,000円</td> <td>(2,500円×40名)(県木連と合同)</td> </tr> <tr> <td>③製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))</td> <td>100,000円</td> <td>(2,500円×40名)(県木連と合同)</td> </tr> <tr> <td>④県産材についての勉強会</td> <td>100,000円</td> <td>(県木連と合同、他委員会合同可)</td> </tr> <tr> <td>⑤「住・緑・家」申込(2件分)</td> <td>200,000円</td> <td></td> </tr> </table>				①「住・緑・家」コンペ登録料	300,000円	(15,000円×20名)	②県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)	100,000円	(2,500円×40名)(県木連と合同)	③製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))	100,000円	(2,500円×40名)(県木連と合同)	④県産材についての勉強会	100,000円	(県木連と合同、他委員会合同可)	⑤「住・緑・家」申込(2件分)	200,000円													
①「住・緑・家」コンペ登録料	300,000円	(15,000円×20名)																												
②県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)	100,000円	(2,500円×40名)(県木連と合同)																												
③製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))	100,000円	(2,500円×40名)(県木連と合同)																												
④県産材についての勉強会	100,000円	(県木連と合同、他委員会合同可)																												
⑤「住・緑・家」申込(2件分)	200,000円																													
<支出> 860,000円																														
<table border="0"> <tr> <td>①県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)</td> <td>75,000円</td> <td>(県木連と合同) ←25,000円減</td> </tr> <tr> <td>②製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))</td> <td>75,000円</td> <td>(県木連と合同) ←25,000円減</td> </tr> <tr> <td>③県産材についての研修会</td> <td>100,000円</td> <td>(県木連と合同、他委員会合同可)</td> </tr> <tr> <td>④コンペ無料開催(イベント用)</td> <td>100,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤「住・緑・家」新PRパンフ作成</td> <td>90,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥県職員共済会冊子広告</td> <td>50,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦森林循環フェア2010</td> <td>70,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧地域ミニコミ誌広告(10,000円×12回)</td> <td>120,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨「住・緑・家」実施(2件分)</td> <td>180,000円</td> <td></td> </tr> </table>				①県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)	75,000円	(県木連と合同) ←25,000円減	②製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))	75,000円	(県木連と合同) ←25,000円減	③県産材についての研修会	100,000円	(県木連と合同、他委員会合同可)	④コンペ無料開催(イベント用)	100,000円		⑤「住・緑・家」新PRパンフ作成	90,000円		⑥県職員共済会冊子広告	50,000円		⑦森林循環フェア2010	70,000円		⑧地域ミニコミ誌広告(10,000円×12回)	120,000円		⑨「住・緑・家」実施(2件分)	180,000円	
①県産木材見学(林業センター、市川屋、吉岡、大田木材)	75,000円	(県木連と合同) ←25,000円減																												
②製材工場等の見学(合板博物館、県産合板工場(キテック))	75,000円	(県木連と合同) ←25,000円減																												
③県産材についての研修会	100,000円	(県木連と合同、他委員会合同可)																												
④コンペ無料開催(イベント用)	100,000円																													
⑤「住・緑・家」新PRパンフ作成	90,000円																													
⑥県職員共済会冊子広告	50,000円																													
⑦森林循環フェア2010	70,000円																													
⑧地域ミニコミ誌広告(10,000円×12回)	120,000円																													
⑨「住・緑・家」実施(2件分)	180,000円																													
<会議費>																														
①9名×12回																														
②「住・緑・家」登録事務所合同会議 2回(5月、11月) 情報を流すこと。選ばれた事務所について等の意見交換																														
③その他申込時ヒアリング・プレゼン立会い 2回×2名×2件																														
(2)「かながわの木を知ろう!!」研修会の開催運営について																														
日時:平成22年2月24日(水) 8:00集合 8:10～18:00																														
工程:寄の森-林業センター-(株)市川屋(製材工場、プレカット等)-県産材使用 施設(七沢小 or 環境保全センター)-吉岡木材																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当日の混雑状況も踏まえると、吉岡木材は見学ができないかも?</li> <li>・ 委員全員の出席とし、運営に当たることとした。(申込をお願いした。)</li> </ul>																														
(3)新パンフレットの作成について																														

## ①自治会館向け

- ・今回で2件行うこととなるため、住宅だけでなく幅を広げるためにも作成したい。
- ・川崎市内で400棟の耐震診断を実施（内100棟がアウト）いているので宣伝ができるかも？

## ②住宅向け

- ・実績もあるので、作品を広告に入れ込んだ形のものを新たに作成することとした。

## (4) 県木連との合同会議（県木連出席者：小原、高橋、小泉、沖原）

### ①「住・緑・家」の状況について

#### i) 設計図書提案物件（7件）

山内邸（設計断念）

滝本邸（進行中 4月着工予定であったが、社会状況の悪化のためペンディング中）

真下邸（設計断念 ホームページを見ての依頼であった。県産木材の利用については了解されていたが、他工務店の施工方法（WBC）に申込者が魅力を感じ実現できなかった。）

平塚市諏訪町会館（進行中 60坪の平屋。森林整備加速化事業採択物件。製材については、市川屋で見積もり依頼（ヒノキ、スギ）。12月に設計完了、1月に確認及び業者選定を行う予定。）

小泉邸（進行中）

松浦邸（進行中 12/25に選定等の返事が来る予定）

三井杉田台自治会館（進行中 12/24～1/8に参加する設計者を募集）

以上、現在までの実績等を報告。

- ・自治会館向けのパンフレットを作成し、今後営業していく。（川崎市等）
- ・年間2～3件程度の受注を目標とするので、協力をお願いした。
- ・県産材についての概算見積りをお願いする際に、事務局の沖原氏を通すのか？（当委員会メンバーは沖原氏を知っているが、知らない場合はどうすれば良いのか？）  
また、三社見積り等についての協力ができるのか？沖原氏より紹介された材木店で良いのか？  
→ 「住・緑・家」に登録したい材木店を募る方向で検討していく予定。
- ・配送料を含んでいる所と別に取り所があるようなので、標準形が欲しい。
- ・現場に近く、材の供給ができる材木店があった方が良い。
- ・設計料の統一は出来ないか？  
→ 工事費の10%が目安だが…。今後の課題
- ・お客さんが選べるような（「住・緑・家」登録事務所の色々な情報が掲載されている）名簿等を作成して欲しい。

### ②県産木材に関する事項について

#### i) かながわ県産木材産地認証制度

- ・かながわ県産木材等の利用の促進を一層普及すると共に県民ニーズにあった県産木材を安定的に供給するため、「かながわ県産木材の産地認証」及び「かながわ県産木材生産者」の認証を行う制度。この制度に基づき認証を行うのが「かながわ森林・林材業活性化協議会」で、森林組合連合会、木材業協同組合連合会など20団体で構成されている。  
この協議会の基準に適合した木材が「かながわ県産材」であり、県産木材を安定的に生産できる機械器具や技術を有し、積極的に県産木材を利用していく熱意を有していると認められた生産者が「かながわ県産木材認証生産者」である。

原木 (25事業者) 認証生産者素材の部 (12,000 m<sup>3</sup>程度で MAX)

原木市場 (林業センター) 60~70%が他県の製材工場及び

合板工場へ (キーテック) 12m/m、24m/m

製材品 (全体31社の内県木連会員18社) 認証生産者製材の部

取扱い順としては、

(株)市川屋 スギ ヒノキ AD KD 乾燥設備、グレーディング、モルダー、プレカット

石田木材(株) スギ ヒノキ AD KD (乾燥外部)

愛川町森林組合 スギ ヒノキ AD KD 乾燥設備 (外部もあり)

(有)太田材木店 スギ ヒノキ AD KD 乾燥設備

(有)山口材木店 スギ ヒノキ AD KD (乾燥外部)

吉岡木材(株) スギ ヒノキ AD

(AD材=天然乾燥材、KD=人工乾燥材)

ii) 神事協からのアンケート (県産木材の供給部材について) 結果

- ・4社 ((株)市川屋、吉岡木材(株)、愛川町森林組合、石田木材(株)) より回答あり。  
この4社が主力である。

	(株)市川屋	吉岡木材(株)	愛川町森林組合	石田木材(株)
<b>1 供給可能な部材について</b>				
柱・梁の最大寸法 (正角寸法)	450m/m 程度 (平角) 300 程度 (正角) (樹種で異なります)	梁幅 120×150・180・210・ 300・330・360~ 管柱 105 角・120 角 通し柱 105 角・120 角・150 角	柱 180m/m 梁 330m/m	270×270 360 巾
柱・梁の最大長さ	8M 程度 (樹種により異なる のでその都度ご相談ください)	3,000、4,000、5,000	6M	6M
樹種	杉、桧、松、サワラ、ケヤキ (全て県産)	杉、桧	杉、桧	桧
料金表	個別にご相談ください	使用予定の一覧表を FAX して いただければ単価を入れて FAX 致します		
<b>2 計算又はプレカットについて</b>				
プレカットを自社で行っていますか?	はい	外部でなら可能です	いいえ	いいえ
材供給のみ (木材を指定のプレカットメーカーに納入) も可能ですか?	はい	はい	はい	はい
構造計算を願えますか?	はい (外注)	いいえ	いいえ	
できるとしたらどこまで (壁量、金物、許容応力度、基礎など) 願えますか?	壁量=自社 その他=自社 N 値計算			
在来の接続金物以外の仕口金物はどの様な製品が対応可能ですか?	はい APS・プレセッター・ クレテック・HJS			いいえ
<b>3 進め方について</b>				
発注者の理解を増すため、製材所での加工の様子など見学可能ですか?	はい	はい	はい	はい
山に立木の状態からクライアントが見ることは可能ですか?	はい	はい	はい	いいえ
その他	部材リストあり			日常在庫 AD 桧 構造材 100 m <sup>3</sup> 造作材(内装) 50 m <sup>3</sup> フローリング 羽目板 500 m <sup>3</sup> 平割材 50 m <sup>3</sup>

- ・構造計算は設計者が行うべきだが、材木店へ求めてくる状況がある。設計事務所では、どこまで求めてくるのか?

### ③今後の予定

#### i) 県産木材に関する意見交換 開催について

- ・ ざっくばらんな会議としたい。
- ・ 質問等を事前に頂ければ対応可能であると思われる。

#### ii) 「かながわの木を知ろう!!」見学会開催について

日時：平成22年2月24日（水） 8：00集合 8：10～18：00

工程：寄の森（水源林）－ 林業センター － 市川屋（製材工場、プレカット等）  
－ 県産材使用施設（七沢希望の丘初等・小学校）－ 吉岡木材

- ・ 神奈川建築コンクールの受賞作品であるので、是非とも見学をお願いしたい。

### ③その他

- ・ 年2回は合同会議を開催していく。
- ・ 戸塚区品濃町「白旗神社」の設計事務所紹介について  
→ 材供給については、県木連で対応可能である。

21～22年度 第7回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 2月 2日 (火)	会場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・○浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ○白井・×古木・○相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所について (PR文書等が届いていない事務所 7社)</li> <li>・ 次年度事業計画及び予算についての報告</li> <li>・ 「かながわの木を知ろう!!」研修会の開催運営 37名</li> <li>・ 各種講習会案内配布</li> </ul> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 三井杉田台自治会館建設コンペについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募者8社 (作品提出7社)</li> <li>・ 一次審査については、通常3社程度に絞って頂きたい旨を伝える。(無理強いは出来ないが…)</li> <li>・ 一次審査の発表はメールにて参加者全員にお知らせする。また、二次審査の案内も通知する。</li> <li>・ 2/23 二次審査の立会い者は、浅野副委員長、長谷川副委員長、磯部とする。 12:00 事務局集合</li> <li>・ ヒアリング、プレゼン立会い等の現地へ行った際の費用は、交通費+5,000円を申込金より支給することとした。</li> </ul> <p>(2) 品濃・白旗神社の設計者募集についての報告及び条件提示について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募者11社</li> <li>・ 寺社物件についての実績 (複数物件の要望あり) の提出、手数料等について 実績については、1物件をA4版1枚にまとめる。フォーマットを相原委員が作成する。 内容としては、物件名、規模及び構造、物件所在地、工事金額 (出来れば)、コメント (PR文書)、写真2枚とする。 フォーマットが出来次第、応募者へ送付し2月15日までに提出をお願いする。</li> <li>・ 事務手数料については、10万円とし、設計工事監理契約締結時に支払をしてもらう。</li> <li>・ 県木連では材の供給が可能である旨の文言を入れる。(担当者：沖原氏とする。)</li> </ul> <p>(3) 新パンフレットの作成について (自治会館向け・住宅向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A3版の二つ折りで作成する。内容については、住宅向け、自治会館向け、リフォーム等を入れる。 <b>次回までに各委員が提案を提出する。</b></li> </ul> <p>(4) 地域ミニコミ誌への広告掲載について → 担当：白井委員とした。</p> <p>(5) 「住・緑・家」登録事務所の募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会報2月号及び3月号に入れ込むこととし、色紙で印刷する。</li> </ul> <p>(6) その他</p> <p>①次回議題へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計料の統一は出来ないか? → 工事費の10%が目安だが…。今後の課題</li> <li>・ お客さんが選べるような(「住・緑・家」登録事務所の色々な情報が掲載されている)名簿等を作成して欲しい。</li> <li>・ 材の強度はどの程度のものの利用が多いのか? (県木連より)</li> </ul> <p>次回 3月開催。日程については決定次第連絡する。</p>			

21～22年度 第8回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 3月12日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・○浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ×白井・○古木・○相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項 ・前回議事録の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンペ登録事務所の新規及び更新の募集について（現在7事務所）各委員へ更新をお願いした。</li> <li>・三井杉田台自治会館建設コンペ終了 (有)相原聡建築設計事務所が選ばれた。 3/12 19:00～ 設計者との顔合わせ立会い。 選考の講評が聞きたい事務所あり。→ 本日聞いてくる。</li> <li>・品濃・白旗神社の設計者募集についての報告（2/22 10社の名簿提出）</li> <li>・2/3 第1回かながわ県産木材品質認証制度に関する打合せ会の報告（玉田委員長より） 出席者は、県のかながわ農林水産ブランド戦略室、認証工務店、認証生産者、県木連、神事協であった。 神奈川県内に JAS 認定工場は無い。（以前は8社あったが、コストがかかるのと必要性が無いため） 高品質木材製品を安定に供給できる体制の整備と県民（消費者）が優先的に県産木材を使用していくためのスキームの構築するために品質認証制度を行いたい。 他県等の取り組みについて 等の概要を説明。</li> <li>・県木連より新聞記事の情報提供（平塚市の町内会館について）</li> <li>・「日本の木のいえ情報ナビ」登録更新について 写真については、変更を行う。</li> <li>・各種講習会案内配布</li> </ul> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 22年度「日事連建築賞」への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回より非会員でも申込が出来るが、一次審査通過時に入会することが条件である。</li> <li>・ホームページへも掲載し、周知する。また、申込の締切は5月7日なので、それ以降に推薦文等を作成する。</li> </ul> <p>(2) 新パンフレットの作成について（A3版二つ折り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原委員より資料の提供あり。</li> <li>・一般への周知パンフ及び「住・緑・家」を宣伝するパンフ案を次回に提出する。（委員全員の宿題） 町内会館、自治会建設について困っていませんか？ Q&amp;A方式にしてみてもは？ 公的補助金があるのはご存知ですか？（利用のノウハウ） 建設における中立性、公平性のアピール 設計監理について（担当：他、玉田委員長（古谷さんの作成したものを活用する。） 複数社からの提案 組織図、フローチャート（申込の流れ） 県産材の利用 「住・緑・家」運営が社団法人で有ることのピーアール</li> </ul>			

(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について → 次回へ (担当：白井委員)

(4) 「住・緑・家」の運営について (「住・緑・家」の設計料の統一等)

- ・「住・緑・家」の営業を行う時点で、お客様から設計監理料のことを聞かれることが多いため必要。
- ・料金の統一については、独占禁止法等で難しいのでは？との意見があった。  
例えば、〇%～〇%位の目安は良いのでは？
- ・登録事務所に報酬アンケートを実施する。(実際の金額)  
住宅(30坪 2,000万円)の場合、設計監理料はいくらですか？
- ・選考の講評が聞きたい事務所あり。(選定理由)  
住宅についても今後は講評を出すこととした。また、講評については、原則お客様に作成して頂く事とするが、作成できない場合は話を聞いて委員会でもとめる。

(5) その他

- ・平塚諏訪町会館 7月着工予定  
写真等のデータをもらいホームページに掲載する。(担当：浅野副委員長)

次回、平成22年4月16日(金) 神事協会議室にて

21～22年度 第9回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 5月17日 (月)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ ×長谷川副委員長 (委員) 白井・ 古木・ 相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事録の確認</li> <li>・ コンペ登録事務所の新規及び更新 30事務所</li> <li>・ 各種講習会案内等の配布</li> </ul> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 22年度「日事連建築賞」の一次審査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募作品、小規模建築部門1作品(株)ガスター ショールーム「ガスタジオ Wings」)について一次審査を行うと共に推薦するか否かについて諮り、全員一致の推薦を得て決定した。</li> </ul> <p>(2) 森林循環フェア2010について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/26 森林循環フェア運営部会の会議開催報告(玉田委員長より)</li> <li>・ 5年計画事業の最終年である。予算が厳しい状況なので、他のイベントを抱き合わせで行う予定。</li> <li>・ 事務所協会としては、小田原アリーナでの開催案を推すことにした。</li> </ul> <p>(3) 新パンフレットの作成について(A3版二つ折り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉田委員長より「建築設計 監理業務」とは!! の資料提供あり。</li> <li>・ 配置、配列、内容を決める必要がある。</li> <li>・ デザイン料込みで25万程度か? 20万円で出来るか白井委員が打診する。予算については、作成費(9万円)では足りないので、他の予算より組み込む。</li> </ul> <p>&lt;宿題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲載したい内容を箇条書きで提出する。</li> </ul> <p>(4) 地域ミニコミ誌への広告掲載について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のミニコミ誌が集まる団体がある。白井委員が担当し、情報収集も含めて打診を依頼した。</li> <li>・ 基になる記事の作成が必要では?との意見もあった。</li> </ul> <p>(5) 「住・緑・家」の運営について(「住・緑・家」の設計料の統一等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート案について 案では、漠然としすぎていて差が大きくなる可能性がある。</li> <li>・ 目的としては、標準の目安を作る。(どの程度の業務内容で 円等)</li> <li>・ 設計と工事監理の業務内容の内訳(標準業務リスト)の案を玉田委員長が作成し、各委員へ送付するので、意見を提出してもらう。(目安の金額を提示するために必要)</li> <li>・ アンケート結果については、委員会ですとまとめる。</li> </ul> <p>(6) その他</p> <p>横浜の教会建替えに伴い県産材の集成材を利用出来ないか?(横浜支部 佐藤氏より) 資料提供を行った。</p> <p>横浜市設計協同組合より、県産材の見学会を実施したい旨の打診があった。 玉田委員長が対応</p> <p>「住・緑・家」登録事務所合同委員会及び県木連との合同委員会開催について 6月18日(金) 14:00～ 登録事務所合同委員会 15:30～ 県木連との合同会議 とした。</p>			

21～22年度 第10回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 6月18日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) ×白井・ 古木・ ×相原		
<p>1. あいさつ 吉川副会長より</p> <p>2. 報告事項 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種講習会案内等の配布</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 森林循環フェア2010について(予算7万円)</p> <p>日程：平成22年10月22日(金)～24日(日) 10:00～20:00 会場：小田原アリーナ</p> <p>・7/2に現地見学を行なう。(出席予定者：玉田委員長)</p> <p>(2) 新パンフレットの作成について(A3版二つ折り)</p> <p>・建替えについての補助金がある等の情報を入れるので、各行政の補助金についての情報を収集する。 (新築、住宅、自治会館) 文章としては、補助金額が異なるため、各市町村にお聞きください等とする。</p> <p>担当者は、以下とした。(次回までの宿題)</p> <p>横須賀ブロック 玉田 湘南及び中ブロック 浅野 横浜及び川崎ブロック 白井 県央ブロック 相原 県西ブロック 長谷川 相模原ブロック 古木</p> <p>(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について 担当：白井</p> <p>(4) 「住・緑・家」の運営について(「住・緑・家」の設計料の統一等)</p> <p>・アンケート案について(玉田委員長より案の提出あり。)</p> <p>修正したものを合同委員会にて提出し、意見を聞くこととした。</p> <p>(5) その他</p> <p>・(財)建築技術教育普及センターの助成事業について</p> <p>コンペ無料2回開催を入れる。他の委員会からのものも含めて申請する。 内容は、7月中にまとめる。</p>			
次回 平成22年7月18日(金) 15:00～17:00 神事協会議室にて			

21～22年度 第11回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 7月16日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ 古木・ 相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項 前回議事録の確認(県木連からの資料参考配布)</p> <p style="padding-left: 40px;">建築基準法の見直しに関する検討会について 詳細は国交省のHPにて確認してください。</p> <p style="padding-left: 40px;">かながわ県産木材品質基準に関する会議について 8/9 出席者：玉田、長谷川、磯部としたことを報告。</p> <p style="padding-left: 40px;">各種講習会案内等の配布</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 森林循環フェア2010について(7/2 下見報告 玉田、長谷川)</p> <p style="padding-left: 40px;">日程：平成22年10月22日(金)～24日(日) 10:00～17:00 会場：小田原アリーナ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/26に県木連にて、県木連、建具組合、神事協の担当者会議を開催。結果については、次回報告する。</li> <li>・当日の担当者 <ul style="list-style-type: none"> <li>22日：玉田、古木</li> <li>23日：浅野、白井</li> <li>24日：長谷川、相原 「住・緑・家」の登録事務所へ手伝いをお願いする。</li> </ul> </li> <li>また、21日の準備は事務局担当の磯部をお願いした。</li> </ul> <p>(2) 新パンフレットの作成について(A3版二つ折り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題であった県内各市町村の補助金制度についての資料提出あり。 逗子市の自治会館の建て替え等は、公共事業となっている。 葉山町は、財政によるが200万円を補助している。 引き続き資料を収集することとした。</li> <li>・デザイン料、印刷費の見積りを取る。(担当：白井委員)</li> <li>・掲載内容を箇条書きで良いので、次回までに必ず提出する。(委員全員の宿題)</li> </ul> <p>(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット等が出来次第、記事にしてもらえるか打診する。</li> </ul> <p>(4) 「住・緑・家」の運営について(「住・緑・家」の設計料の統一等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果について(12事務所回答)</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>木造2階建、100㎡(30坪)本体工事費2,000万円の4号特例物件とし、宅地造成等は無いものとします。 プレゼンテーション済と言う事で、現場調査、行政調査は終了している業務とします。</p> <p style="padding-left: 40px;">設計図書としては、下記図面程度。</p> <p>1. 特記仕様書 2. 案内図 3. 配置図 4. 求積図・面積表 5. 外部・内部仕上表 6. 1・2階平面詳細図 7. 立面図 4面 8. 断面図 2面 9. 矩計図 10. 建具キープラン平面図 11. 建具表 12. 展開図 13. 床伏図 14. 1・2階天井伏図 15. 部分詳細図 16. 基礎伏図・基礎詳細図 17. 土台・床根太伏図 18. 2階梁伏図 19. 小屋伏図 20. 屋根伏図</p>			

21. 電気設備図 22. 機械設備図

監理業務として、

工期4か月で、週2回の立会い・打合せ等にて、御見積お願いいたします。

- ・アンケートの結果：平均220万円（税別）であった。  
このアンケートをもとに申込者へ説明することとした。

(5) (財)建築技術教育普及センターの助成事業申請について

- ・建築士の教育、質の向上、スキルアップ（プレゼン力アップ）等の内容を盛り込む必要がある。
- ・玉田委員長が申請書の内容を作成し、7/27までに事務局まで送付することとした。  
また、建築士事務所キャンペーンについては、ブロック支部委員会にて作成頂く事とした。

(6) その他

10月21日の賛助会フェアについて

- ・「住・緑・家」をPRするために参加することとした。賛助会にもPRする。

「木のまち・木のいえ担い手育成拠点」の募集について（国交省、林野庁共同プロジェクト）

- ・募集する提案：先導性・モデル性、実現可能性、持続可能性
- ・応募主体に公益法人は応募団体から除くとあり、事務局へ問合せをしたところ、当団体は現段階では応募出来ないが、グループを作ったりして頂ければ可能であるとの回答であった。

次回 平成22年 8月26日（木） 15:00～ 神事協会議室にて

21～22年度 第12回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 8月26日 (木)	会場	神事協地下会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ 古木・ 相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項 前回議事録の確認</p> <p>かながわ県産木材品質基準に関する会議について(8/9報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわ県産木材(スギ、ヒノキ 4寸角)の強度試験結果について 建築基準法の基準をクリアしている。</li> <li>・品質認証制度の基準等について 乾燥をどの程度にするのかが問題である。</li> </ul> <p>(財)建築技術教育普及センターの助成事業申請の報告 9月中旬位に採否決定。</p> <p>8/25 諏訪町会館 県産材柱贈呈式の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市川屋のPRとして、材の供給を市川屋にした場合は、柱10本か、大黒柱1本のいずれかをプレゼントしたい。との話があった。</li> </ul> <p>各種講習会案内等の配布</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 森林循環フェア2010について(10/22～10/24 小田原アリーナ)</p> <p>8/24 運営部会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式については、小田原箱根木製品フェアと一緒にを行うため、テープカットはなし。</li> <li>・企画内容については、例年通り。県産木材住宅見学会については、候補地が4箇所あったが、会場の近くである(株)神工舎建築工房の2箇所とした。</li> <li>・当会としては、「暮らしの提案」ブースでの「住・緑・家」の周知と「小田原市ならではの住まいづくり」での県西支部の展示を行う。</li> <li>・建築士会は、今回参加出来ないと言っていたが、急遽出展するとの申し出があった。</li> <li>・会場準備として、9/20の13:00～及び9/21の9:00～搬入となった。(県木連と磯部が対応する。)</li> <li>・広報については、タウンニュース、県のたより、小田原市の広報等に10月上旬に掲載予定。ポスター、チラシ等については、各団体50～100枚(チラシ)程度を配布予定。不足の場合は、PDF版も用意するので、各団体で印刷して欲しい。 また、後援名義に国交省が無いので、打診して頂くこととした。</li> <li>・ブース出展(3万円)については、実績のある所に声をかけると共に県産木材住宅見学会に提案頂いた、(株)神工舎建築工房と新進建設(株)へも声をかけることとした。(後日出展社説明会を実施予定)</li> <li>・木工コンクールの審査員推薦については、昨年同様、三杉専務にお願いする。(9/10回答締切)</li> <li>・実行委員会を9月に開催予定。</li> </ul> <p>手伝い協力依頼について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日付で協力依頼を「住・緑・家」登録事務所へ送付する。回答締切：9/30とした。</li> </ul> <p>(2) 新パンフレットの作成について(A3版二つ折り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷川副委員長、相原委員より案の提出あり。</li> </ul> <p>&lt;長谷川案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会館は地域により補助金が利用可能</li> <li>・行政への面倒な申請も補助する</li> <li>・キャンペーン時期にはコンペ費用を会で負担している</li> <li>・キャンペーン時期には県産木材のプレゼント有り</li> <li>・公益法人が主催している事業である</li> </ul>			

- クライアントへの安心感（NPOや組合との違い）
- 公平性の確保（登録者の選別、選択）
- ・3事務所によるプレゼンの実施  
（状況により多数事務所とできる）
- ・登録事務所が自賠償保険に加入している安心感      メリット（安心感）
- ・木材を森林より選び出せる      要確認      無理
- ・木材の選択可能（県木連業者製材所より）
- ・県木連との協同事業（木の専門家からのアドバイスを受けれる）
- ・神奈川（国）の山と水源を守る  
前回パンフレットの設計事務所の仕事等は掲載せずに今回はメリットだけにした方が良いと思う。

<相原案>

- (社)神奈川県建築士事務所協会による「住・緑・家」
- ・適正な設計監理による、適正な価格による適正な施工
  - ・社会的信頼
  - ・補助金の情報提供、行政と連携した住まいづくり
  - ・県木連との協働事業

神奈川県産木材

- ・木材の暖かみを利用したデザインの提案（家具、建具、流し台等）
- ・神奈川の自然の理解
- ・間伐材の利用（土留め杭、土工沈床）
- ・品質認証（予定）

建築士事務所による家づくり

- ・地域の設計事務所、工務店による世代を超えた長いお付き合い
- ・長期優良住宅に必要なデータ履歴の長期にわたる管理
- ・監理者による品質の確保
- ・適正な維持管理方法の提案

事例

- ・住宅、自治会館、家具等

両案の項目を利用してパンフレットのイメージを白井委員の知り合いの印刷会社へ持込み、イメージ（タタキ台）の作成を次回の委員会開催時までにお願ひする。

- ・コンペシステムの紹介（メリット）      事務所に出会えること。
- ・フロー図（流れ）の作成。
- ・表現方法      写真、イメージ、図面等

(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について      (2) が完成次第、打診する。

(4) 「住・緑・家」の運営について（「住・緑・家」の設計料の統一等）

- ・お客さんが設計料について質問された場合は、告示15号もあるが、建設工事費の10%前後である。
- ・「住・緑・家」で受注した場合の設計料等の基準（住宅の場合）についてのお願い文を作成し、登録事務所へ送付する。

(5) 見学会等の実施について

見学場所（木材会館、東京大学、合板博物館）      1～3月に実施予定とする。（県木連へ打診）

長野県林業総合センターの講習会（県木連との合同開催）      11月ごろ

(6) その他      なし

21～22年度 第13回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 9月 2日 (木)	会場	神事協地下会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ (委員) 白井・古木・×相原	玉田委員長・	×浅野副委員長・長谷川副委員長 オブザーバー 小林副会長
1. あいさつ 玉田委員長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認 森林循環フェア 2010 の手伝い協力依頼送付報告 各種講習会案内等の配布			
3. 議 題			
(1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動スケジュール等について			
1) 助成金額90万円(9/10頃正式決定文)			
・活動内容について(各支部での市民向けイベント開催予定、講習会、見学会の実施) 原則、委員会メンバーのいる場所で開催する。(対応がしやすいため)			
P R活動について			
10/2 相模原(ミウイはしもと 建築・住まいるフェア) 担当:古木(ブース代30,000円)			
10/21 横浜(技能文化会館 神事協フェア) 担当:玉田(ブース代0円)			
10/29～10/31 川崎(川崎競輪場 市民まつり) 担当:白井(ブース代30,000円)			
11/6～11/7 大和(大和駅周辺 大和産業まつり) 担当:相原(ブース代30,000円)			
11/6～11/7 横須賀(三笠公園 産業まつり) 担当:玉田(ブース代0円)			
11/11～11/14 鎌倉(鎌倉生涯学習センター 仕事展) 担当:浅野(ブース代30,000円)			
11/13～11/14 小田原(ダイナシティ小田原 建築士事務所キャンペーン)(ブース代60,000円)			
・上記会場にてP R活動を行う。また、「住・緑・家」登録事務所へ協力依頼を行うこととした。 支部長へも協力依頼をする。9/15支部長合同ブロック支部委員会にて報告する。			
・直近の10/2に関しては、玉田委員長が福永支部長へ連絡し、打ち合わせる。			
講習会の実施(1回)(会場費50,000円、講師料等(交通費込)50,000円/人、資料作成費70,000円)			
・11月頃に長野県林業総合センターの方に講師をお願いし、県木連の協力のもと開催する。			
・県木連へ講師の都合等を聞いて頂くこととした。			
見学会(1回)(バスチャーター100,000円、資料作成費30,000円)			
・木材会館、東京大学、合板博物館を2月上旬に実施予定とした。			
周知新パンフレットの作成(A3版二つ折り) (5,000枚作成 作成費300,000円)			
・現在検討中のものとする。タタキ台作成中。			
広告掲載費 (50,000円)			
・神奈川県厚生福祉振興会の冊子(現在掲載中の費用とする)			
コンペ実施費 (200,000円+本会費用100,000円)			
・1回無料、柱プレゼント2回分、コーディネーター費用とする。			

(2) 新パンフレットの作成について 上記

(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について 次回へ

(4) 「住・緑・家」の運営について

- ・アンケート結果を踏まえ、「住・緑・家」で受注した場合（住宅）の設計・工事監理料についてを「住・緑・家」登録事務所へ送付し、お知らせすることとした。

(5) 見学会等の実施について

木材会館、東京大学、合板博物館 1～3月 上記(1) にて

神奈川の木を知ろう 1～3月 検討する。

長野県林業総合センターの講習会（県木連との合同開催） 11月ごろ 上記(1) にて

(6) その他 なし

次回 平成22年 9月24日（金） 15:00～ 神事協会議室にて

21～22年度 第14回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 9月24日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) ×白井・ 古木・ 相原		
1. あいさつ 玉田委員長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認			
各種講習会案内等の配布			
森林循環フェアについて(9/16 実行委員会の資料配布)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の企画内容について報告。建築士会が建築相談を実施するため、当会は行わない。</li> <li>・県産木材住宅見学会については、秦野(新進建設)と南足柄(神工舎建築工房)の2物件となった。</li> <li>・お手伝い担当者については、下記とした。決定文を送付する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>10/22: 玉田、古木、河本、上原(午前のみ)</li> <li>10/23: 浅野、白井、小幡、新村、増田</li> <li>10/24: 長谷川、相原、芝、玉田</li> </ul> </li> </ul>			
その他			
3. 議 題			
(1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動スケジュール等について			
平成22年度 「住・緑・家」コンペのPR活動への協力依頼送付報告等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・8事務所より回答があった。9/30までの回答締切なので、それを待って協力者へ担当割振りを決定し、決定文を送付する。</li> </ul>			
活動内容の確認			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、パンフレットの配布、「住・緑・家」システムの説明、バルーン風船による人寄せ等</li> <li>・ヒノキチップの配布(川崎、大和、県西)、県産材の端材で手形(横須賀、大和)を実施予定とし、材料が用意できるか県木連へ打診する。</li> </ul>			
収支表について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在分かっている内容について収支表を作成した。</li> <li>・助成金の入金が来年3月になるため、支払いが発生する場合は仮払いで対応願うこととした。理事会にて玉田委員長が総財務委員会へお願いする。</li> </ul>			
(2) 新パンフレットの作成について(A3版二つ折り)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉田委員長が白井委員へ連絡をとり、タタキ台をなるべく早くメールにて送付して頂き、早期完成を目指す。</li> <li>・既存パンフレットの増刷について(残部約300) 5,000枚 89,250円 料金にもよるが、1枚当りの作成費が前回と同様であれば、2,000枚を増刷することとした。</li> </ul>			
(3) 地域ミニコミ誌への広告掲載について パンフレットが完成次第、検討する。			
(4) 「住・緑・家」の運営について			

(5) 「木材に関する研修会(かながわ県産木材の利用)」講習会の実施について

- ・(財)建築技術教育普及センターの助成事業の一環として開催する。

日時：平成22年11月16日(火) 受付 13:30~

会場：横浜情報文化センター 6階情文ホール

講師：長野県林業総合センター 木材部長 吉田孝久

会費は無料とし、案内には大きく記載する。また、案内文に高温乾燥とあるが、高温乾燥は駄目だというイメージだが、何を伝えたいのか等を県木連へ確認することとした。

(6) 見学会等の実施について

木材会館、東京大学、合板博物館 2月上旬に開催とした。

- ・(財)建築技術教育普及センターの助成事業の一環として開催する。

神奈川の木を知ろう 1~3月 様子を見て決定することとした。

(7) その他

コンペ第5号物件(小泉邸)について(ホームページへの掲載方法等)

- ・雄設計室より進捗写真の提供を頂けるとのことなので、協力をお願いする。

- ・現場見学会の実施について

日時：平成22年10月2日(土) 10:00~16:00

場所：横浜市保土ヶ谷区境木町54-9

案内を雄設計室が作成しているので、届き次第会員へ周知することとした。

21～22年度 第15回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年10月12日 (火)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 吉川昭・ 玉田委員長・ 浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ x古木・ 相原		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認 各種講習会案内等の配布			
<p>森林循環フェアについての確認</p> <p>10/22：玉田、古木、上原（AM）、河本、山中</p> <p>10/23：白井、小幡、新村、増田、吉川</p> <p>10/24：長谷川、相原、芝、玉田、中尾</p> <p>・手伝い費を一律2,000円とした。</p> <p>神事協フェアの確認</p> <p>・セミナー：11:00～12:00（玉田委員長）</p> <p>・案内に記載のあるコンペ無料については、会員や賛助会の知り合いで無いフリーのお客様のみを対象とする。</p> <p>・展示ブースには、パンフレットを置く。</p> <p>その他</p>			
3. 議 題			
(1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動スケジュール等について			
平成22年度 「住・緑・家」コンペのPR活動への協力日等の決定について			
「住・緑・家」コンペ登録事務所の方より回答があった方を対象に決定した。			
<p>10/21：上原、内田、小幡、吉川</p> <p>10/29：上原、長谷川、河本、山中</p> <p>10/30：小幡、玉田、吉川</p> <p>10/31：白井、相原、奥山</p> <p>11/6（横須賀）：小林、玉田</p> <p>11/7（横須賀）：河本、玉田</p> <p>11/6（大和）：古木、相原、新村、芝、小幡</p> <p>11/7（大和）：相原、小幡、新村、吉川</p> <p>11/11：鈴木、山中、浅野</p> <p>11/12：鈴木、山中、玉田</p> <p>11/13（鎌倉）：山中、吉川</p> <p>11/14（鎌倉）：鈴木、山中、相原</p> <p>11/13（小田原）：小林、上原、山宮、新村、玉田、長谷川</p> <p>11/14（小田原）：内田、小幡、白井、玉田、長谷川</p>			
以上とし、決定文をそれぞれに送付することとした。			
また、手伝い費は一律2,000円とし、他支部からの応援者のみに支払うこととした。			
活動内容の確認等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A1 又は A2 パネルの展示</li> <li>・ 「住・緑・家」チラシの配布</li> <li>・ 「住・緑・家」の説明</li> </ul> <p>以上を基本内容とする。また、オプションとして、</p>			

- ・風船による集客（森林循環フェア、川崎、大和、小田原）
- ・ヒノキチップの配布（森林循環フェア、川崎、小田原、厚木）
- ・スギの板（15 cm角）に手形をおす。（森林循環フェア、小田原）
- ・スギ、ヒノキ柱 1 m程度のもの それぞれ3本（横須賀、鎌倉、小田原）
- ・ヒノキ合板 60 cm程度のもの 3枚（横須賀、鎌倉、小田原）

## （2）新パンフレットの作成について（A3版二つ折り）

- ・白井委員よりタタキ台の資料配布があり、検討した結果下記を修正することとした。
  - ・住緑家を住・緑・家へ修正する。（共通事項）
  - ・作品例の写真を綺麗なものにする。また、「横浜市青葉区の家」3つの設計プランと追記する。
  - ・裏面に問合先・申込先、FAX番号、「住・緑・家」担当を追記する。
  - ・神奈川県木材業共同組合連合会を神奈川県木材業協同組合連合会に修正する。
  - ・中面のQ&Aを小さくし、下部へ移動する。
  - ・中面のQ&A2つめの ~設計することはございません。を設計することはありません。に変更。
  - ・中面の県木連の標記を神奈川県木材業協同組合連合会に修正する。
  - ・中面の共同事業を協働事業へ修正する。
  - ・中面のフロー図を中段に追記載する。
  - ・中面の神奈川県の木材を使って家を建ててみませんか？ を  
神奈川県産・国産の木材を使って家を建ててみませんか!!に変更する。
  - ・中面の神奈川県の建築設計事務所が設計の応援を削除。
  - ・中面の神奈川県の建築設計事務所が設計の応援をさせていただきます。を削除。
  - ・中面の神奈川県木材を神奈川県産木材へ修正。
  - ・中面下段の「住・緑・家」の取組みを上段へ持っていき大きくする。

以上を修正し、修正したものを委員へ送付し確認等をお願いする。

## （3）地域ミニコミ誌への広告掲載について

- ・パンフレットが出来上がったら各地域に委員が投げ込みしてPRしてみる。  
記事にしてもらえたら。

## （4）「住・緑・家」の運営について 後日

## （5）「木材に関する研修会（かながわ県産木材の利用）」講習会の運営について

日時：平成22年11月16日（火） 受付 13:30～ 集合 13:00（現地）  
会場：横浜情報文化センター 6階情文ホール

## （6）見学会等の実施について

木材会館、東京大学、合板博物館 2月上旬の開催日程案について

県木連の沖原さんと磯部が、東京大学に打合せに行く。

## （7）その他

「住・緑・家」第5号物件の工事進捗状況のホームページ掲載について

- ・作成したものを掲載していく。

平塚市諏訪町会館の見学会については、竣工前に行うこととした。

21～22年度 第16回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年12月3日(金)	会場	小田原市生涯学習センター 茶室
出席者 ( )	担当副会長 吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) ×白井・ 古木・ 相原		
見学会：新進建設(株) 長期優良住宅モデルハウス 他 正確な数字は出していないが、坪100万円を超えると思われる。(新進建設より)			
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認 次年度予算案の確認 その他			
3. 議題			
(1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動スケジュール等について			
・これまでの活動内容の確認等(実施済みのもの) 森林循環フェアが項目に入っていないので、確認して記載する。			
・ホームページの作成をこの助成金に入れる。長谷川委員の知り合いに頼むことも考えることとした。			
(2) 地域ミニコミ誌等への広告掲載について			
<広告費参考>			
・リクルート社発行(年4回)「神奈川の注文住宅」(書籍代380円)			
2ページ(制作費込み) 単号 100万円 継続 400万円(+1ページ 10万円×4回追加可)			
4ページ(制作費込み) 240万円			
2ページフリー広告 200万円～(デザイン料別)			
上記のようなものは無理なので、記事として掲載して頂ける所を探すこととした。			
・広告は結構お金が掛かるので、ホームページをいまどきのものに変更する。			
(3) 「住・緑・家」の運営について 次回へ			
(4) 見学会等の実施について			
木材会館、東京大学、合板博物館 (2月上旬の開催予定)			
県木連 沖原氏が東京大学と打合せ中。			
名称：「国産木材利用施設等の見学会」に変更する。			
参加費：3,000円に変更する。			
(5) 次年度予算案の修正			
・予算が厳しいとの情報が入ったため、修正案を下記のように作成した。			
<収入の部> 合計 650,000円			
「住・緑・家」コンペ新規(追加)登録料 15,000円×4社=60,000円			
県産材見学会 3,000円×40名=120,000円			
製材工場・現場見学会 3,000円×40名=120,000円			
木材についての研修会 3,000円×50名=150,000円			

「住・緑・家」申込 100,000 円 × 2 名 = 200,000 円

< 支出の部 > 合計 1,040,000 円

県産材見学会 75,000 円

製材工場・現場見学会 75,000 円

木材についての研修会 100,000 円

コンペPR費 150,000 円

「住・緑・家」実施費用 90,000 円 × 2 回 = 180,000 円

「住・緑・家」ホームページ変更 200,000 円

< 会議費 > 合計 380,000 円

会議費 ( 1 2 回 ) 2,500 円 × 84 名 = 210,000 円

合同会議 ( 2 回 ) 2,500 円 × 60 名 = 150,000 円

「住・緑・家」ヒアリング&プレゼン立会 2,500 円 × 8 名 = 20,000 円

( 6 ) その他

12/14 小泉邸見学会について

雄設計室 古谷氏に確認する。また、案内が出来次第ホームページに掲載し、周知する。

2 月 平塚諏訪町会館の見学会を予定

浅野委員に段取りをお願いする。

次回開催未定

21～22年度 第17回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成22年 2月 8日 (火)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ 古木・ 相原		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認			
<p>次年度予算案の確認(変更点を玉田委員長より説明)</p> <p>&lt;変更点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入の部 「住・緑・家」コンペ登録料 15,000円×6名=90,000円へ変更。</li> <li>・支出の部 コンペ無料開催 100,000円を削除。 地域ミニコミ誌への広告 120,000円を削除。 コンペPR費 150,000円を80,000円へ減額。 会議の合同役員会における交通費の支給を委員のみへ変更。</li> </ul> <p>「住・緑・家」登録事務所の追加募集について 会報2月号に同封し周知した旨の報告</p> <p>かながわ県産木材品質基準に関する会議出席について(2/14開催) 出席者:玉田委員長、長谷川副委員長、事務局担当磯部 内容については、後日報告することとした。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講習会案内等を配布し、申込をお願いした。</li> <li>・公共建築物木材利用促進法市町村向け担当者等説明会の資料配布。</li> </ul>			
3. 議 題			
(1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動スケジュール等について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動内容の確認等(報告書、清算書の作成)</li> </ul> <p>コンペ実施費用は良いが、申込金については削除する。 木材プレゼントを作品展示費用に変更する。 ホームページ作成についても削除する。 周知パンフ A4版費用も計上する。</p> <p>未実施があるため、最終的には3月に報告書と清算書をまとめることとした。</p>			
(2) 白幡神社の件について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜支部の(有)森山建築設計事務所が現在仕事を手伝っているということなので、吉川副会長と玉田委員長で話を聞いた。森山さんもどういった経緯で頼まれたのかが不明であるとの回答であった。</li> <li>・品濃白幡神社の再建委員会事務局へ連絡し、こちら資料を提出頂いた皆さんに報告する義務があるため経緯を教えて頂きたいと問合せをした所、わからないとの一点張りであった。</li> <li>・後日再度、当初この話を持ち込んで来た肥田さんに連絡をとり、確認することとした。</li> </ul>			
(3) ホームページの改訂について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷川副委員長の知り合いの方を紹介して頂き検討することとした。</li> </ul>			

(4) 見学会等の実施について

- ・平塚諏訪町会館 竣工式について

日 時：2月19日(土) 11:00~

出席者：上原会長、吉川副会長、長谷川副委員長、磯部とし、ご祝儀として1万円用意する。

- ・平塚諏訪町会館の見学会については、浅野副委員長と打合せをし、4月頃を予定とした。

(5) 「住・緑・家」の運営について 次回へ

(6) その他

- ・県木連 沖原事務局長よりコンペの申し込みがあった。  
異例ではあるが、町内会館と同様に登録事務所全員に案内を出し、参加者を募集することとした。
- ・委員の補充について  
次年度は、鎌倉支部より1名を補充したい。次回議論する。

次回開催未定

21～22年度 第18回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成23年 3月25日(金)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) ×白井・ ×古木・ 相原		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 報告事項 前回議事録の確認</p> <p>「住・緑・家」登録事務所の追加募集について 5事務所より申込があり、4月に登録料の請求書等を発送することとした。</p> <p>かながわ県産木材品質基準に関する会議出席報告(3/11開催) 出席者：玉田委員長、長谷川副委員長 ・かながわ県産木材品質認証制度が承認された。また、(仮称)かながわブランド品質認証委員会の構成メンバーについての案が提出された。</p> <p>平成23年度日事連建築賞への対応について 2事務所より問合せがあった。例年通り対応する。</p> <p>白幡神社の件についての報告 白幡神社「御社殿再建委員会」長谷川昭一委員長及び肥田豊美建築部会長より平成23年3月付で経緯報告があった旨を報告した。</p> <p>その他 ・建築コスト研究所の冊子に「公共建築物等における木材の活用」について特集が組まれていたので、参考までに記事を配布した。 ・各種講習会案内等を配布し、参加をお願いした。</p> <p>3. 議 題 (1) (財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動等について(報告書の作成及び清算書の作成)</p> <p>1) 3月22日現在までの普及事業助成に係る収支表について報告</p> <p>合計：984,143円 &lt;内訳&gt; 会場費：192,240円(PR会場8カ所、講習会会場) 印刷費：397,846円(周知パンフA3版、A4版、講習資料、見学会資料) 謝金：109,970円(講師料、コンペコーディネーター費、見学会場謝礼) 旅費交通費：162,433円(バスチャーター、PR関係交通費と駐車場、講習会交通費と駐車場) 通信消耗費：48,000円(県厚生福祉振興会の広告費) その他：73,654円(ジャンパークリーニング、PRグッズ(スギ板、ヒノキチップ等))</p> <p>2) 普及事業成果報告書(案)(請求書(清算)、会場等の写真含む)</p> <p>成果報告書について(下記内容を記載し、作成する。)</p> <p>1. 普及事業の名称：設計者選定コンペシステム『住・緑・家』～国産材(県産材)使用の住宅～ 2. 事業の概要： 「住・緑・家」コンペ周知のための広報活動 開催日時、会場を記載。 かながわ県産木材への理解・認識を高めるための講習会 「木材に関する研修会(かながわ県産木材の利用)」 日時、会場及び講師名を記載。県木連の沖原氏も記載する。 「住・緑・家」登録事務所の知識・技術力の向上及びスキルアップの為の見学会 「国産木材利用施設等の見学会」 日時、見学場所及び講師名を記載。東京大学安藤先生と岡野先生。 「住・緑・家」コンペの実施</p>			

周知活動の結果、横浜市在住の方より1件の申し込みがあった。と記載。

### 3. 事業の成果・効果：

「住・緑・家」コンペ周知のための広報活動

対象者：一般市民、参加者：約1,000名

・広く県民にアピールするには単年度では難しく感じた。これからもコンペシステムを広められるように努力する。(別添パンフレット2種類を作成し活用した。) と記載。

「木材に関する研修会(かながわ県産木材の利用)」

対象：「住・緑・家」登録事務所、神奈川県木材業協同組合連合会会員、神奈川県建築士事務所協会会員及び非会員建築士事務所、参加者：182名

・木の乾燥、材面割れと強度の関係、県産木材の流通等についての内容で行われ、認識をあらたにされ、木材に関しての顧客に対する対応力を修得された。 と記載。

「国産木材利用施設等の見学会」

対象：「住・緑・家」登録事務所、神奈川県木材業協同組合連合会会員及び神奈川県建築士事務所協会会員、参加者：41名

・東京大学では、建設に携わった安藤教授より材の確保のために全国を回るなどの苦労話や木造と建築士との橋渡しをし、現在の木造に対する教育についての問題点の指摘もされた。木材会館では目玉である檜のホールの大梁の説明を受けた。木材・合板博物館では世界に1台しかないベニヤレースを見学し、合板の可能性(県産材ヒノキの合板は存在する)についての説明を受け、大変有意義な見学会であった。 と記載。

「住・緑・家」コンペの実施

(横浜市在住の方より申込1件あり)

・本来の3事務所選定コンペを今後のPR活動に活かすため、登録事務所によるオープンコンペとし、14社(30社中)が応募され、現在選考中である。 と記載。

### 清算書の作成

・上記収支結果をもとに請求書を作成する。(千円単位なので繰り上げる。)

合計金額：900,000円

費目	金額(千円)	内訳
会場費	132	PR周知会場(横浜、川崎、模原、大和、横須賀、小田原2箇所)
	31	講習会会場費及び設備費(横浜情文ホール)
印刷費	300	周知パンフレット作成費 A3版 5,000枚
	36	周知パンフレット作成費 A4版 2,000枚
	50	講習会資料印刷費
	13	見学会資料印刷費
謝金	40	講習会講師料(旅費込み)
	100	コンペ実施費(ヒアリング等、コーディネーター費)
	11	見学会
旅費交通費	63	PR関係交通費
	10	講習会関係交通費
	90	バスチャーター
通信消耗費	48	県厚生福祉振興会広告費
印刷製本費		
その他	7	クリーニング費
	68	PR用グッズ購入費(県産スギ板、ヒノキ柱、ヒノキチップ等)
前途金	0	
調整額	99	本年度の助成額になるように調整してください。

会場等の写真：PR会場風景、研修会風景、見学会風景を提出する。

その他：パンフレット2種、研修会資料、見学会資料を添付する。

上記の内容で作成し、(財)建築技術教育普及センターへ送付することとした。

(2) 「住・緑・家」第8号物件への対応について(14社より応募有り)

運営に係る費用について

- ・この物件に限り、コーディネーター費(ヒアリング、プレゼン)として10,000円/人を支払う。  
ヒアリング:3名、プレゼン:2~3名
- ・今後のコンペコーディネーター費については、現行の委員会費ではなく、5,000円/人(交通費+地域割増しは別途支給)とする。

(3) ホームページの改訂について

- ・内容を検討していく。
- ・4月1日16:00~広報情報委員会にて長谷川副委員長の知り合いの方が打合せを行う。

(4) 見学会等の実施について

- ・平塚諏訪町会館の見学会実施日程案 6月前半の土日か?

6月18日(土)午後希望で浅野副委員長から打診して頂くこととした。  
見学開放時間:14:00~16:30とする。また、案内文を修正する。

(5) かながわみどりの家づくり補助金事業(県産木材活用促進事業)説明会開催について

- ・名称を「かながわみどりの家づくり補助金(県産木材活用促進事業)」説明会へ変更する。  
また、補助金がでることを強調した文章に修正すると共に裏面に県作成パンフレットを印刷する。
- ・神奈川県と県木連に後援依頼を行う。
- ・日時:平成23年4月18日(月)14:00~16:45 横浜市開港記念会館 1号室 定員:100名
- ・司会等については、後日決定する。手伝いは、委員全員で行う。

(6) 「住・緑・家」のPR活動について

平成23年4月17日(日)午後 横浜産貿ホール  
平成23年4月24日(日)午後 小田原合同庁舎  
平成23年5月5日(祝木)日本丸(神事協フェアのプレ)  
平成23年5月28日(土)鎌倉由比ヶ浜

- ・委員全員でPR活動を実施していく。

(7) その他

企画業務委員会からの検討依頼事項について

- ・神事協フェア(9/9~9/10)でのセミナー実施要請について  
「住・緑・家」PRで1時間。9日及び10日の15:00~16:00を希望する。と回答する。

木造特別委員会からの検討依頼事項について

- ・神事協フェアにおける共同ブース出展について  
単独で事業計画をするので、別出展でお願いしたい。と回答する。

次回、未定。

21～22年度 第19回 (社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録			
開催日時	平成23年 5月12日(木)	会場	神事協地下会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ ×古木・ 相原		
1. あいさつ 玉田委員長より			
2. 報告事項 前回議事録の確認 平成22年度(財)建築技術教育普及センターの助成事業に係る活動報告 その他 ・三井杉田台自治会館の補助金申請が認可された。			
3. 議 題			
(1) 平成23年度日事連建築賞の一次審査(3物件)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募作品が一般建築部門1作品、小規模建築部門2作品あり、「住・緑・家」運営特別委員会では応募作品について推薦するか否かについて諮り、全員一致の推薦を得て決定した。また、講評については、下記とした。</li> </ul>			
<p>【特別養護老人ホーム 愛成苑 講評】</p> <p>公園予定地の一角で、全周非難バルコニーの法規制がありながら、建物4面を壁面緑化という提案をされ、外壁仕上タイルまでも迷彩柄という緑に配慮し、公園の緑と同化する建物で、建物空間においても緑のカーテンなる緑化のおかげで、室内の温熱環境も配慮されている。老人ホーム利用者も、人生の高齢期を緑あふれる、さわやかな空間で有意義な時間を楽しめる、次世代施設になっていると評価出来る。</p>			
<p>【白い家 講評】</p> <p>第一に設計者として、建物の安全性を一番に考え、多くの要望を満たすべく、限られた条件の中でバランスを取ることに注力し、将来の家財増加も考慮している。また、本来の住宅としての居室における二面採光及び痛風を確保し、使いやすい空間を安価な施工費で実現していることが評価される。</p>			
<p>【ヨコハマアパートメント 講評】</p> <p>集合住宅の近隣交際に対する空間を地域まちづくり、都市景観、地域の環境にも考慮し、新しい街の顔をデザインしている。高い階段の1階の広場は、住民のみならず地域コミュニティの場として、明るく風通しのよい空間となっている。ここで展開される様々なシーンが、新しい街の顔をさらに生きた空間としている。高い階段を構成する1階の4本のメガ柱は、明るい半屋外空間をつくるだけでなく、新しい街の顔を演出している。そして、新しい街の顔の実現で、新しいパブリックのひろがりを出させている。20世紀に経済優先で飽和した街に、新しい時代の街を展開する街の改修手段として評価できる。</p>			
(2) 「住・緑・家」第8号物件への対応について(14社より応募有り)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次審査結果は下記の5案となった。申込者に一次審査の結果をメールにて報告することとした。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>受付NO.1 (株)悟工房</li> <li>受付NO.2 (有)徳豊設計</li> <li>受付NO.5 (株)アスデック建築事務所</li> <li>受付NO.7 TAMA設計</li> <li>受付NO.13 (株)ポロスデザインシステム</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンの日程については、沖原氏と調整し、後日お知らせする。</li> <li>・プレゼンの立会者は、長谷川副委員長、浅野副委員長を予定する。</li> </ul>			
(3) ホームページの改訂について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き検討していく。</li> </ul>			

(4) 平塚市諏訪町会館見学会の運営について

開催日時：平成23年6月18日(土) 見学開放時間 14:00~16:30

- ・当日は、12:30 平塚駅集合とした。

(5) 「住・緑・家」のPR活動について

平成23年5月28日(土) 9:00~16:00 鎌倉海浜公園由比ヶ浜地区

- ・鎌倉支部高野さんより「チーズのカッティングボード」(県産天乾ヒノキ)を配布したいので、予算が捻出出来ないか?(5~7万円程度欲しい)

予算がないため、出展費として2万円しか捻出出来ない旨を鎌倉支部長へ伝えることとした。

- ・「住・緑・家」としては、県産材ヒノキチップ(1袋)と風船を用意する。

平成23年9月9日(金)~10日(土) 日本丸メモリアルパーク

タイトル：みらいふれあい祭り in かながわ(みんなで考えよう!!まちづくり・家づくり)

- ・展示物及び企画

2ブース(展示用と相談用) テーブルとイスを希望する。

「かながわみどりの家づくり補助金の説明」(市民向け)が9/10(土)に出来るかを県のブランド戦略課へ打診することとした。

7月31日(土)(桜木町 日本石油ホール) 神奈川新聞主催の住宅関連イベント  
住宅補助の説明を予定。(前回同様のスタイルで実施)

参加することとした。

一般市民向けセミナー等の実施について

- ・なんとか市民へ直接アプローチしたいので、今後方法等を検討していく。

(6) のぼり旗のラフ原稿作成について(600×1800 1色刷 4,000円程度)

- ・4本作成する。原稿等の作成については、白井委員が担当することとした。

(7) その他

- ・なし

21～22年度 第2回 神事協「住・緑・家」登録事務所&県木連合同会議 議事録			
開催日時	平成22年 6月18日 (金)	会場	神事協会議室
出席者 ( )	担当副会長 ×吉川昭・ 玉田委員長・ ×浅野副委員長・ 長谷川副委員長 (委員) 白井・ 古木・ 相原 (「住・緑・家」登録事務所) 上原伸一・ 小林忠志・ 鈴木康三・ 河本義彦・ 奥山繁樹 山宮・ 菊池理夫・ 中尾 実・ 内田幸夫・ 山中恭江 高野淳一・ 村田英男・ 新村玲子 (県木連) 徳増和昌・ 小泉武信・ 市川 寛・ 沖原和哉		
<p>1. あいさつ 玉田委員長より</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>3. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30事務所が登録されたことを報告。</li> <li>・ 「住・緑・家」運営特別委員会の取組み及び活動内容について報告</li> <li>・ 現在までの「住・緑・家」コンペ実績を報告</li> <li>・ その他</li> </ul> <p>4. 議 題</p> <p>(1) 「住・緑・家」コンペ規程等の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10万円の申込金で、選ばれた事務所へ3万円を支払うことの表記がないため入れる。 (各事務所3万円、事務手数料1万円)</li> </ul> <p>&lt;意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 著作権の確認については、どうしているのか？ 申込み時にお話はしているが、確認書に入れる。</li> <li>・ 申込者が設計者を3名選ぶのに事務所協会は関わっているのか？ 関わっていない。</li> <li>・ 現在掲載のホームページ内容に変更がある場合は、その都度対応出来るのか？ 出来ず。メールにてデータ等を送付して下さい。</li> <li>・ 施工業者は、指定されるのか？ 指定していない。お任せしているが、木材の供給のみ県木連の登録材木店より行って頂く。</li> <li>・ 施工業者の地域的なしぼりはあるのか？ ない。</li> <li>・ 現在は3者を選ぶことになっているが、3者以上にすることは考えられるか？(選ばれる可能性が高くなるので) 現状は考えていない。申込者もプレゼンを聞くのに3者が限界であると思われる。 チャンスが広がる事も考えて、将来的に検討する。</li> <li>・ 「住・緑・家」で提出した設計図書が、全く違ったものになっても良いのか？ 良い。</li> <li>・ 提出図面について、ハードルを低くしたと言っているが、申込者はイメージがわくのか？ 設計者選定が前提にあるので、プレゼン等で頑張ってもらいたい。</li> <li>・ 木材を見せるのか、見せないのか？ 設計者の提案で良い。</li> <li>・ 提出図書に予算表等を入れるのか？ 設計者に任せている。</li> </ul> <p>研修及び見学会等の要望について</p> <p>委員会で現在考えているのは、合板博物館とキーテック木更津工場(県産材ヒノキ合板)で、秋頃を目途に考えている。</p> <p>木材会館の見学会(日建設計)を企画して欲しい。</p>			

## (2) 森林循環フェア2010について

日程：平成22年10月22日(金)～24日(日)

会場：小田原アリーナ

- ・「住・緑・家」PRのお手伝いをお願いしたい。詳細については、後日依頼することとした。

## (3) 意見交換

- ・県産材を使用した箸作りは、人が集まった。
- ・「県産材を使おう」みたいなのぼり旗が欲しい。(9月に鎌倉で県産材のイベントを開催する)
- ・知ってもらうことが大事。
- ・工法とセットで県産材のPRが出来ないか？  
長期優良住宅の先導的モデル事業に採択されたものもある。(丹沢ヒノキ無垢材を土台、柱に「使用するほか、横架材の梁、桁にもヒノキ無垢材を使用。スパンを飛ばす物件には県産材ヒノキを用いた構造用LVLも使用される。)
- ・ホームページを今風に変えて欲しい。

「住・緑・家」に登録しているかたの意見を聞きたいので、今後も是非参加して意見を出して欲しい。

## (4) 神奈川県産木材について(県木連との合同委員会)

- ・県産木材(ヒノキ、スギの柱材)についての強度試験を行った。サンプル総数80本。  
強度については、JAS製品と遜色ない事が分かった。(沖原氏より説明あり)  
また、(株)市川屋にあるグレーディング機械での検査での数値と大差はなかった。

### <意見等>

- ・県産木材のパンフレットを定期的に作成して欲しい。
- ・県産材のメリットは？  
本質的には、補助金制度のないのでないのが現状。環境をテーマにした、「木を守ろう!!」、「木を使おう!!」といったものしか無い。
- ・材の特徴は？ 特筆するものはない。通常流通している材と変わらない。
- ・全て無垢材(県産材)を使用することは可能か？  
全て無垢は難しい。尺2寸以上は受注生産となる。又は、LVLや集成材の利用。

## (5) その他

建築士事務所キャンペーンへの協力について

開催日：平成22年11月13日(土)～14日(日) 10～20時 ダイナシティ小田原

詳細については、後日依頼することとした。

「住・緑・家」による設計・監理業務報酬アンケート調査について

- ・申込者より設計料等についての質問が必ずあるため、おおよその目安を申込者に伝えるために行うアンケートである。

下記を追記修正し、メールで登録事務所へ送付し、回答を求めることとした。

- ・本体工事費2,000万円を追記する。
- ・無記名可能とした。
- ・税別の金額を入れて頂くこととした。

21～22年度 第1回 神事協「住・緑・家」登録事務所&県木連合同会議 議事録			
開催日時	平成21年 7月23日 (木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川昭・○玉田委員長・○浅野副委員長・○長谷川副委員長 (委員) ×白井・○古木・○相原 (「住・緑・家」登録事務所) ○上原伸一・○小林忠志・○古谷雄一・○河本義彦・○西倉哲夫 ○雨森隆子・○小幡秀造・○小泉厚・○内田幸夫 (県木連) ○徳増氏・○沖原氏		
<p>1. あいさつ 玉田委員長、小林副会長、上原会長より</p> <p>2. 報告事項 ・「住・緑・家」の経緯説明          実績：5物件の利用あり。内、1件保留、1件は町内会館（平塚市諏訪町）で設計契約          22年6月に着工予定。          ・コンペ規程等の報告及び確認</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 第3号物件 真下邸の結果報告          → 雄設計 古谷様より説明</p> <p>(2) 森林循環フェア2009について          日程：平成21年11月6日（金）～8日（日）          会場：藤沢モルフィル、TVKハウジング藤沢（「住・緑・家」PR会場）          ・「住・緑・家」PRのお手伝いをお願いしたい。          → 事業内容を説明し、後日正式依頼を出すこととした。</p> <p>(3) コンペ登録事務所へのアンケートについて及び意見交換</p> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>①「住・緑・家」が設計者選定ということをご存知でしょうか。</p> <p>・依頼主は、登録建築士の書き込みのみで、選ばれるのでしょうか？ → その通りです。          また、会から、他の情報も提示されるのでしょうか？          → 無いです。書き込み内容の変更は随時可能ですので、その際は事務局まで連絡してください。</p> <p>②依頼者に対するヒアリングシートの内容について、追加事項等ありますか。</p> <p>・なぜ、建物を建てたいのか？（内面的なことを引き出す一暮らし方、家族関係…）          今の住まいへの不満          個別にヒアリングをしたい（ここが一番重要部分）          ヒアリングシートは、各設計士が作成し、聞き出すものではないか          → 個別のヒアリングに関しては、コンペの性質上同情報で無くなるので難しい。また、お客様の負担が増す恐れがある。平等性を保つためにも同席上でお願いしたい。          詳細なヒアリングも有効だと思われるが、偏ったプランになる可能性もある。          今後、経過を見て検討する。</p> <p>・土地の情報（土地購入時の重要事項説明書、登記した地積測量図など）          → 測量図等は、原則お客様が用意するのが条件だが…足りない情報に関しては、選ばれた3社と委員長で協力して行ったのが原状で、嫌な思いもした。</p> <p>・お住まいになる家族の名前、性別、年齢、各々の趣味など住む人をイメージ出来る内容          → 既存のもので内容を網羅していると思われる。</p>			

③依頼者へ、説明するプレゼンの時間（現在30分）は、いかがですか。

- ・まだやったことがないのでわからないのですが、短いのではないのでしょうか。  
→ 現状で30分以上は、1～2人です。  
また、お客様の反応にもよるが、原則30分とし臨機応変に対応したい。

④県産材（国産材）の材料供給は、県木連の登録木材店ということをご理解頂いていますか。

- ・担当する材木店さんはその都度決まるようですが、できれば、依頼する流れの決め事など（窓口や依頼内容のチェックシートなど？）を作っておいた方が部会の負担が減るのでは？  
→ チェックシートの案を雄設計の古谷氏にお願いした。  
また、理解しているお客様が少ないので、確認書を新たに追加した。
- ・プレカット業者への材の供給は可能か？  
→ 大丈夫。
- ・材の等級は指定が出来るか？  
→ 県産材で製品化されたものが無い場合もあるので、国産材を入れている。  
スパン表等は無い。部材リストは、各材木店が渡すことが出来る。
- ・材の流れについては？  
→ 指定された数量をそろえるのが難しい場合もある。  
また、県産材は一般的には流通していない。

⑤施工業者についての制限はありませんが、上記通り県木連経由での材の供給が必要になりますが理解していますか。

- ・了解していますが、設計者を選ぶ施工業者ならば県木連経由での材の指定は問題無いが、施主が決められている施工業者の場合、県木連経由での材の指定が毎回可能かどうか不安。  
→ 県木連経由でなければ、主旨に合っていないくなる。  
県木連が橋渡しを行う。
- ・施工者にとって値段が安い材をアピールするのでは？（施主と直接交渉を進めてしまうのでは）  
→ 材木店と製材工場とのパイプの問題。

⑥研修会等、要望があればご自由にお書き下さい。

- ・意匠事務所向けの木構造の話が良いですね。  
→ 木造特別委員会へ申し伝えます。会全体での実施を検討する。
- ・県産材についての研修（神奈川県の木材の現状や構造、性能など）  
→ 良質な材で高いものも県産材にはあるが、使いこなせない。また、林業試験所が神奈川県には無い為、性能の評価が出来ない。施主に良い材だと説明できる様な研修会開催は企画していく。
- ・実例の現場見学会、登録事務所間の連携、親睦兼ねた楽しい催しを希望。  
県木連とのより一層の合同事業等  
→ 一般の人にも山を見学してもらえよう。  
近県の材木使用が環境にも良いことをアピールして行ける様に委員会で検討（相原さん提案）
- ・実施されている案件の経過状況を逐一ホームページ等でお知らせ下さい  
→ 大づかみの進捗状況をUPして行く。

## ⑦その他

- ・プレゼン後の返事をもらう日にちを限定して方が良いと思います。  
→ 一か月以内となっておりますが、お客様は、1社に決める事を契約と皆さん勘違いされています。そのため何度か委員長が電話連絡をしています。
- ・部会の予算や決算は、公開されているのか？  
登録費を出しているのです、気になります。また、登録していてメリットを感じません。  
プレゼン代がでないコンペは、不満に思いました。  
→ 会の予算書に含まれてしまい明確に公開はされていない。  
設監委員会の様に関係図書等を登録事務所に配布する事も今後委員会で検討
- ・現在の問合せ状況、事務所選定（第4ステージ）及び最終結果等について事務所名を出さなくてもリアルタイムで情報が欲しい。  
→ 大づかみの進捗状況をUPして行く。
- ・選定事務所に5社にならないか？  
→ 3万円×3社+1万円事務経費を説明（費用10万円の内訳）
- ・設計料のおおよその目安は、問合せ段階で話されていますか？  
→ 工事費の10%前後と話してはいたが、告示15号でどう話をして良いか。委員会として金額の目安を独禁法に違反しないで設定出来るか検討（ある程度の金額提示が望ましい）
- ・プレゼンはパース 可を復活したらどうかと思います。特に住宅は立面図よりパースも可のほうが、クライアントにも分りやすくまた、より登録事務所の力量や企画力が向上すると思う。  
→ カラーパースを可にするか委員会で再検討
- ・コンペの申し込み状況を速やかに、公開したら？コンペ登録会員が増えるきっかけになる。  
→ 大づかみの進捗状況をUPして行く。
- ・コンペの主旨が不明確。運営も規定が不足しています。  
プレゼンの労力を削減するなら、コンペではありません。  
もっと違う趣旨で県民に協力できる方法があるような気がします。
- ・依頼者が“事務局はガードが硬い”と、不満を云っていました。  
→ 質問者が欠席のため回答できない。
- ・三者の設計者と話をすることは一般的に可能か？  
→ 紹介されても一者で、三者と会うのは難しいのが現状。それが「住・緑・家」のメリット。

## (4) その他

- ・当日配布の資料3（緑の産業再生プロジェクト）を登録者に配布する。

次回 未定